ＪＡ新はこだてとみなさんを結ぶコミュニケーション誌

えすぽわーる 新函館

12
December
2018
No.196

道南を農す
森町濁川 奥山 俊輝さん

特集 2018年を振り返って

JA新はこだて

道南をたがや農す

「冬の楽しみはスキーです。早くやりたいです」と俊輝さん。

森町　濁川地区

奥山（おくやま）　俊輝（としき）さん(26)

トマト	55a
水稲	500a

地熱を利用し、みずみずしいトマトを年中栽培する

『農業』は楽しい思い出でいっぱい

俊輝さんは、20歳で祖父の山田武雄（たけお）さんのもとに就農し、今年で7年目を迎える農業者。

就農を決意した理由について「小学生のころは祖父母の手伝いでトマトを収穫することや一緒にトラクターに乗るのがとても楽しみだった。その思いが強く、中学3年の時、特に迷わずに就農しようと思った」と当時を振り返る。森高校在学中は、調理系の科目を積極的に選択し、『食』への理解を深めたという。その後、札幌の「八紘学園」で2年間、農業全般の基礎知識や農業機械の操作などを学んだ他、2年次には園芸コースを専攻し、野菜の専門的な知識の習得に努めた。

現在、日々の農作業は俊輝さんと祖父の武雄さん、祖母の和子（かずこ）さん、母の佳子（かこ）さんの4人で行うことがほとんど。父の修一（しゅういち）さんは、民間企業に務めているが、毎年4回ほどの田んぼの畔の草刈りは、修一さんと俊輝さんが一緒に行う。俊輝さんは「草刈りはベテランの父に全然敵わない」と父親の手腕に感心している様子。

『トマト』新品種にチャレンジ

俊輝さんは濁川地区の農家で構成され、トマトの品種改良などを行う研究会の中の研究班の一人。研究班4年目の今年、作付面積の2割ほどで新品種『桃太郎ネクスト』の栽培にチャレンジ。「玉の色や形、食味も良く、想像以上に好感触」と嬉しそうに話す。現在、試作段階の『桃太郎ネクスト』について、「今後、出荷できるよう取り進めていきたい」と意気込む。

今年1月には武雄さんから経営移譲を受けた。経営を引き継いで変わった点を聞くと「肥料の量は自分の判断で調整するようになった」という。

地熱を利用し、通年でトマトを栽培している俊輝さんは、農業関係機関からの助言を受け、今年、土壌診断を受けた。その結果、大量の窒素が蓄積されていることが判明し、撒く肥料は例年の半分ほどに抑えた。「今まで通りに肥料を与え続けるのは、不安が大きかった。今後も土の状態には配慮していく」と話す。

お米については、これまで『ななつぼし』のみだったが、今年は『ゆめぴりか』を作付けした。長雨や日照不足の影響で収量が思うように伸びなかったが、来年も同面積で作付けする予定。

最後に、今後の目標について「トマトやお米の収量や品質の向上はもちろんのこと、家族に心配されないように嫁探しにも力を入れていきたい」と笑顔を見せた。

トマト管理作業に使う踏み台。俊輝さん自身の手作り。「これは2代目で、初代との違いはタイヤの両輪の間隔を広げたこと」と話す。

ハウスにはパイプが設置されている。「自分のところは地熱を利用している」と話す。

収穫したばかりのトマト。取材日も収穫後のトマトを軽トラックに積み込んだ。「11月20日には次のトマトの苗が届くので、それまでにハウス内を整理する」とのこと。

えすぽわーる
NO.196／2018年12月号

目　次
CONTENTS

2　道南を農す
濁川　奥山　俊輝さん
4　特集
2018年を振り返って
6　頼れるアグリウーマン
八雲　古田　美子さん
7　となりの農家さん
厚沢部　高橋　亮太さん
知内　出口　拓也さん
8　トピックス
小学校で食育出前授業
北斗市4Hクラブが児童と収穫　他
10　あぐりレッスン
12　JAグループ通信
13　インフォメーション
ふっくりんこ15周年
プレゼントキャンペーン
14　インフォメーション
JA北海道大会
スマサポコンテスト
15　読者の声
あっさぶメークインごろっと
カレー発売中
冬の貯金キャンペーン
16　今月の朝ご飯
アサリだしハクサイロール
ハクサイナムル

特集 2018年を振り返って

2018年も終わりを迎えようとしています。今年は年明けの大雪や6月から7月にかけての長雨、9月の台風や地震などが皆さんの印象に強く残っているのではないでしょうか。そんな2018年、JAや組合員の皆さんの動きを「えすぽわーる」で振り返ります。

第16回通常総代会 開催

4月13日、北斗市のかなでーるで第16回通常総代会が開催されました。総代381名による議決で、全8議案と1特別決議が原案通り可決されました。議事では農畜産物販売高が3年連続で300億円を突破したことなどが報告されました。

新執行体制がスタート

4月16日に開かれた理事会・監事会で新執行体制が決まりました。畠山良一会長、輪島桂組合長、田中猛一専務、西村安弘常務、川端英裕常勤監事が再任され、新たな常勤役員に二本柳寛常務が就任。㈱新はこだて協同には輪島桂社長が就任しました。

女性参与制が4月から始まる

4月14日（第16回通常総代会翌日）から平成33年に開かれる通常総代会開催当日までの3年間の任期において、女性農業者のJA運営参画を目的に、笠松悦子さん（知内地区）、岡崎昭子さん（瀬棚地区）の2人が女性参与に選任されました。

5月 田中専務が叙勲受章

平成30年春の叙勲受章において、田中猛一専務が北海道南渡島消防事務組合七飯消防団団長として永年に亘り尽力した功績が認められ、瑞宝双光章を受賞しました。

各地で田植え体験が行われる

小学生や親子を対象に、田植え体験が各地で開かれました。子供たちは裸足になって水田に入り、真剣に苗を植えていました。

また、函館大妻高校の生徒も田植えを行い、農家・農業の苦労を追体験しました。

1月 学校給食にふっくりんこカレー

1月24日、厚沢部町米作振興会が寄贈した「ふっくりんこ」を使った学校給食のカレーが、厚沢部町内小中学校の児童や関係者らに提供されました。同町の松橋道雄副町長や同会の山田智稔会長らが厚沢部小学校を訪れ、同校3年生14人と一緒にカレーを味わっていました。

2月 あぐりへい屋で「鍋まつり」

毎年恒例の鍋まつりを開催し、「ごっこ鍋」と「カキニラ鍋」を販売しました。地元産の野菜をふんだんに使った熱々の鍋は、寒い中来店したお客のカラダを温め、笑顔にしていました。

はこだてFOODフェスタでお米をPR

「はこだてFOODフェスタ」に大野支店と米穀課が参加。道南のブランド米「ふっくりんこ」と「きたくりん」のどんぶり用ご飯を販売し、お米消費拡大のPRを行いました。

4月 新採用職員が入組

4月、14人のフレッシュな新卒新採用職員が入組し、各部署に配属されました。それに先立ち入組前研修や農家実習が行われ、JA職員としての意識を高めていました。

6月 組合長がトップセールス

輪島組合長と南生産販売部長は、道外の市場12ヶ所に販売要請に赴きました。市場の経営者と面談し、要望を直接伝えました。主要量販店の三徳本店では、新はこだて野菜の品質確認と米穀（ふっくりんこ）の販売協議を行いました。

9月 台風21号、平成30年北海道胆振東部地震が発生

9月5日、北海道に接近した台風21号によって、全道各地で農作物の倒伏やハウスのビニールが剥がれるなどの被害が発生しました。9月6日午前3時7分、胆振地方中東部を震源地にマグニチュード6.7の地震が発生し、その後、全道的な停電が発生しました。

10月 お米の収穫体験や試食会が行われる

北斗市の茂辺地小学校（写真）や七飯町の七重小学校の児童、函館大妻高校の生徒は稲刈りを体験しました。児童や生徒は楽しみながら稲を刈りました。10月5日には、函館育ちライスターミナルで「ふっくりんこ」などの新米試食会が開かれ、白さ、つや、粘りなど総合評価でふっくりんこが最多得点を獲得しました。

収穫祭が大盛況

厚沢部で「第7回大収穫感謝祭inあっさぶ2018」（写真）が開催。メークインの詰め放題や塩煮の無料提供などが人気を集めました。20日、21日には「大野支店収穫感謝祭」で、新鮮農産物や新米を特別価格で販売。お米に関するクイズ企画や大抽選会、恒例の餅まきなどが行われ、大盛り上がりでした。

7～8月 「農協トマトカレー」が復活

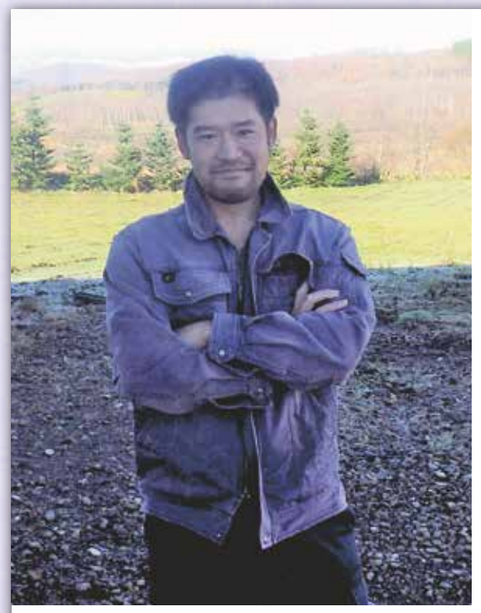
北斗市産トマトの甘味と酸味のバランスがマッチした絶品カレーが数量限定で復活。北斗市女性部がカレーに使うトマトジュースを用意し、復活を後押ししました。関係者による試食会も行われ、「トマトが苦手でもこのカレーは食べられる」と好評でした。

夏祭りが各地で開催

7月21日、知内で「第23回JA夏まつり」が開催。「はこだて和牛」やニラ「北の華」入りジンギスカンなどを販売し、会場は賑わっていました。8月4日にはあぐりへい屋で「6周年感謝まつり」が開かれ、特別価格の農産物販売コーナーやフードコーナが人気を集めていました。13日には若松支店で「第23回北の白虎まつり」（写真）が開催。青年部がその場で焼き上げる手作りピザが大好評でした。

今年も1年間「えすぽわーる」をご愛顧いただき、ありがとうございました！

2019年も引き続き、よろしくお願いします。



▲「結婚して家族を増やし未来に繋げていきたい」と高橋さん

厚沢部

病気がつかないよう 防除を徹底

高橋（たかはし） 亮太（りょうた）さん（34） 種子馬鈴薯

厚沢部町中館町の高橋亮太さんは、種子馬鈴薯3ha、黒豆3haを作付している。

種子馬鈴薯の収穫は9月中旬から始まり、日量5tを収穫した。10月上旬にピークを迎え、10月下旬に終えた。営農上注意していることは「防除を大切に欠かさず、病気が付かない様に気をつけている」とのこと。

今年の出来栄えについては「小玉の芋が多く2L以上が少ない。収量も例年より少ない。6月から7月にかけての長雨や日照不足の影響だ」と話す。

今後については「今の体系を崩さず、いいものを模索しながら取り入れていきたい」と語った。

〈取材　厚沢部支店　若山　耕大〉

となりの農家さん

～農家の現場へズームイン～

知内

収量UPを目指して

出口（でぐち） 拓也（たくや）さん（31） ニラ

知内町中ノ川地区の出口拓也さんは、現在ハウス14棟でニラを栽培している。日々、適期防除・適期作業を行う事を心掛けて作業を行っている。その他、水稲も作付している。

「昨年よりニラの生育がとても良かったので、出荷時の調整作業等が効率的になり、他の作業時間が増えた」と話す。販売単価の高い時期に出荷出来たのも良かったとのこと。来年度について、「ニラは現状の面積で、収量アップを目標に適期作業を怠らないようにしたい。水稲は全面積ではないが、作付している『ふっくりんこ』から『きらら』に品目を変え、収量アップに繋がるか試験的に行いたい」と語った。

〈取材　知内支店　藤澤　純一〉

▲来年度のニラの準備をしている出口さん

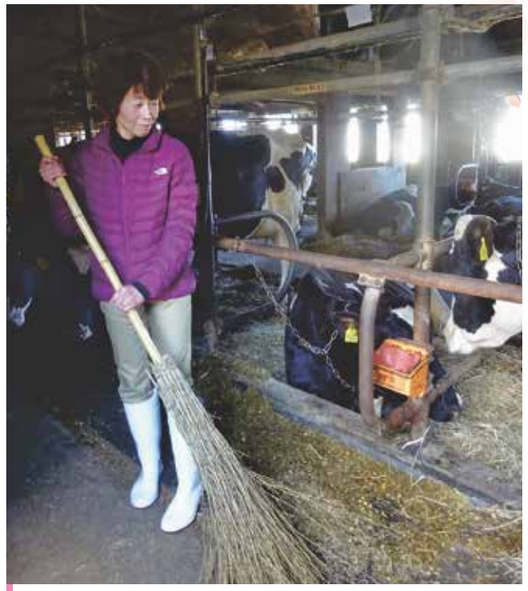
頼れる♥アグリウーマン♥

女性が経営を支えると言っても、その支え方は農作業の手伝いだけではなく、家事や育児など様々あります。そんな農家経営を支えている女性にインタビューしました。

「家族の一員と考えて、牛への思いやりを大切にする」

八雲町

古田（ふるた） 美子（よしこ） さん



「しっかりと牛を観察して、いろんなことにチャレンジすることが大事です」と話す。

●どのように経営をサポートしていますか？

日々の搾乳や育成・子牛の管理を担当しています。

作業するときは「牛を思いやる」ことを一番に気をつけています。優しく接することで牛も心を開いてくれると思います。

大変なことも多くありますが、続けることで発見できることもあるので、自分の未来・地域の未来の為に頑張りたいです。

●今後の抱負について

来年の6月1日に(株)スプライズファームが設立されます。仕事の環境が変化するので、大変な時期もあると思いますが、しっかりとコミュニケーションをとり、助け合いながら仕事を頑張りたいです。情報共有が一番重要だと思いますので、『報連相』を大切に日々、チャレンジしていきたいです。

●リフレッシュ方法はありますか？

スキーの指導員の資格を持っているので、地元の子供たちに指導しています。ただ見せるだけではなく、言葉で伝えなければいけないので、難しい部分もありますが、子供達は柔軟に受け止めてくれるのでとても助かっています。子供達から元気をもらうことが多いので、やりがいを感じています。

〈取材　八雲支店　田井　健吾〉

「牛と会話することが大事」と古田さん。

えすぽわーる TOPICS トピックス

管内各地の旬な情報をお届けします。

ご飯は脳の栄養に必須 小学校で食育出前授業

米穀

児童にお米の話をするJA職員

JA新はこだて米穀課は、生産者の苦労や食材の大切さを知ってもらおうと、北斗市と協力し、各小学校で食育出前授業を開いた。11月6日には、上磯小学校で5年生27人が授業を受けた。

同課の森川功輔係長がお米の品種の特徴や作付面積などをクイズを交えて説明。森川係長が「ふっくりんこは日本航空（JAL）の国内線ファーストクラスの機内食としても採用されている」と話すと、「すごい」「同じお米をお昼に食べているんだ」などの驚きの声があがった。

その後、児童は事前に職員が炊いてきた新米の「ふっくりんこ」と「きたくりん」を受け取り、普段の給食で食べている「ふっくりんこ」がどちらかを食べ比べた。

食べ比べ用の新米を嬉しそうに受け取る児童

食育活動でシイタケ菌床 知内町蔬菜生産組合が園児と児童に贈る

知内

菌床を受け取る児童

知内町蔬菜生産組合は10月18日、同町と木古内町内の保育園と小学校9カ所に合計120個のシイタケの菌床を贈った。児童が自ら育てることで、シイタケに興味と関心を持ってもらう狙いで、毎年行っている。

寄贈活動は7年目となり、栽培農家4戸で構成する同生産組合の堂守正彦部会長は「自分の手で育てることで、苦手なシイタケが好きになる例もある」と手応えを話した。

今年の営業も無事終了 函館支店女性部「湯川朝市」

七飯

皆勤賞の野菜セットを手渡す様子

函館支店女性部は10月27日、今年の「湯川朝市」の営業を終えた。同月20日には、お米や花束、農産物などが当たる抽選会を行った他、部員が作ったお汁粉や漬物を来場者に振る舞った。

最終営業日も販売開始から多くの買い物客で賑わい、馬鈴薯やキャベツ、ブロッコリー、玉ネギなどの新鮮な農産物が次々に売れた。

朝市部会長の松倉義枝さんは「来年も新鮮でおいしい野菜を皆さまにお届けしたい」と話した。

大野

楽しそうに落花生を収穫する児童

落花生掘りにチャレンジ 北斗市4Hクラブが児童と収穫

北斗市4Hクラブは10月19日、北斗市内で落花生の収穫体験を行った。同市内の市立市渡小学校児童12人が参加し、部員と一緒になって、約3a分の落花生を収穫した。

児童からは「学校でつくった落花生より実が大きい」などの声が聞こえた。

収穫した落花生は児童らが自宅に持ち帰ったほか、地元の祭で生と塩茹でしたものを販売して人気を集めた。来年以降も小学校側の要望に沿って、収穫体験を続けていく予定。

米穀

笑顔で弁当を販売する生徒

「ふっくりんこ」と地元食材をPR 函館大妻高生がオリジナル弁当を販売

函館大妻高校食物健康科2年生6人が11月10日、「あぐりへい屋」で地元食材をメインとした創作弁当「大妻日和（おおつまびより）」を販売した。

生徒らは当日朝7時から調理を開始。販売開始前に整理券を配布し、カウントダウンの掛け声に合わせて一斉に販売。

地元食材をふんだんに使った弁当は「キャベツの塩昆布漬け」や「切り干し大根」など13品のおかずに新米とボリューム満載。限定100食の弁当は数十分で完売するほどの人気を集めた。

青年部

意見を交わす参加者

ホクレンと懇談会 JA道南地区青年部協議会

JA道南地区青年部協議会とホクレン函館支所は10月23日、函館市で経済事業懇談会を開いた。

ホクレンは物流課、農機燃自生活課、生産資材課の概要を説明。その後、青年部は3班に分かれ、ホクレンの各課に対し、事業利用に関する疑問点などを質問し、意見交換した。

青年部からは「ホクレンが行う農機レンタル事業を初めて知った。今後、使用することを検討していきたい」などの意見が出た。

若松

新米を食べ比べる出席者

「ふっくりんこ」が最多票 せたな町新米試食会

せたな町米麦改良協会は11月6日、町内で収穫した「ふっくりんこ」などの新米の試食会をJAきたひやま事務所で開いた。生産者代表やJA新はこだて若松基幹支店、JAきたひやま、関係機関などから19人が出席した。

同町産の新米「ふっくりんこ」「ゆめぴりか」「ななつぼし」「きたくりん」4品種の名前を伏せて食べ比べ、最も美味しいと感じたものに投票した結果、「ふっくりんこ」が最多票を獲得した。

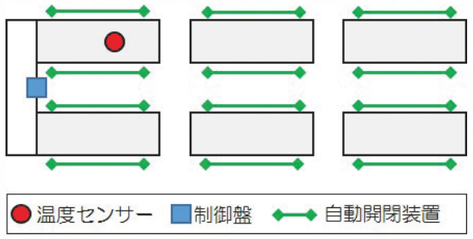
ICT技術を駆使したハウス管理

北斗市の山本農場ではハウス管理の省力化を目的とした機器をトマト・キュウリのハウスに導入しました。導入した機器の概要とその効果について紹介します。

1．自動換気装置

温度センサーの温度を制御盤がモニターし、必要に応じて自動開閉装置を作動させて、ハウス内の温度調節を行います。

１台の制御盤で６棟のハウス（１２台の開閉装置）を制御できますが、ハウスの向きや日照条件などを同一にする必要があります。



※実際の設置は4棟です。

温度センサー

制御盤

自動開閉装置

朝晩2回、1回30分～1時間かかっていたハウスの開閉作業が自動換気装置導入後は全くなくなりました。

2．自動かん水装置

タイマーであらかじめ設定した時間に電磁弁を自動で開閉し、かん水を行います。

基本は１日１回で、人が作業する必要はありませんが、湿度や乾き具合を制御することはできないので、確認作業は必要です。自分で乾き具合を確認し、必要があれば追加でかん水しています。

自動かん水装置の電磁弁

3．炭酸ガス発生装置

炭酸ガスを発生させ、送風機でハウス内に送る装置です。炭酸ガス濃度調節による収量アップを目的に導入しました。

自動換気装置のモニターには二酸化炭素濃度が表示されており、その数値を見て手動で動かしています。

導入したハウスの観察では生育の向上と収量増加が確認されています。今後、調査により増収効果を明らかにしていく予定です。

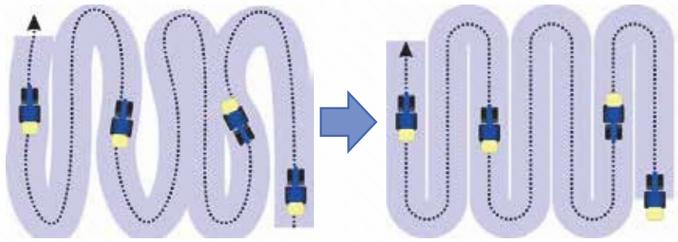
炭酸ガス発生装置

GPSガイダンスと自動操舵の活用事例

八雲町の学林ファームではＧＰＳガイダンスシステム、自動操舵、ＩＳＯＢＵＳが標準装備になっているトラクターを導入し、草地管理の効率化を図りました。

ＧＰＳガイダンスと自動操舵の効果により、不整形ほ場においても蛇行せず、真っ直ぐ走れるようになります。

また、メーカーが八雲基地局を設置し、それまで２０ｃｍ程度あった作業の誤差が２ｃｍまで縮小されました。


導入前（蛇行が多い）　導入後（真っ直ぐ走行）

トラクターとモニター画面

※ＩＳＯＢＵＳとは／トラクターと作業機を連動させて高性能な作業をするための農業用国際統一規格

ＧＰＳガイダンスを使った作業内容とその効果

作業名	作業機	GPSガイダンスと自動操舵の使用状況及び効果
肥料散布	ブロードキャスター	・GPSガイダンス+自動操舵+ISOBUS対応ブロードキャスター ・モニターに散布量を入力し、自動制御で正確に肥料散布
牧草刈り	モアコンディショナー	・GPSガイダンス+自動操舵+ISOBUS対応モアコン（9m幅）
牧草反転	テッター	・テッターをかけた場所を、画面で確認できる。 ・以前は水分が高い牧草ではわかりづらかった。
堆肥散布	マニュアスプレッター	・堆肥散布した場所を画面で確認できる。
スラリー散布	スラリータンカー	・スラリー散布した場所を画面で確認できる。
除草剤散布	スプレーヤー	・散布漏れや重複散布を回避できる。

※スプレーヤーは今後、導入を検討したい作業機

最も効果が高かったのは肥料散布です。施肥設計を行ってほ場ごとに散布量を決めていますが、今までは頻繁に過不足が生じていました。

今年は過不足が全くなく、設計通りに散布ができました。また、余った肥料をまき直す時間も短縮されました。作業負担も軽減しました。

使う際の留意点

ＩＳＯＢＵＳ対応のトラクターではコンピューターにトラブルが生じると全く動かなくなり、作業が中断します。トラブル回避策を検討しておく必要があります。

JCBギフトカードやふっくりんこ、JA加工品が当たるチャンス！

※詳しくは応募ハガキまたは専用応募フォームをご覧ください

商品陳列棚にある応募ハガキかQRコードの専用応募フォームでキャンペーンに応募しよう！

スマホ専用応募フォーム

A賞 JCBギフトカード10,000円分

15名様

B賞 ふっくりんこ 5kg（ホクレンパールライス・JA新はこだて・函館支段・ホサイライスのいずれか）

35名様

C賞 JA加工品セット（玄米茶500ml・ラーメン・カレー）

100名様

応募方法

キャンペーン期間中、店頭に並んでいる「函館育ちふっくりんこ蔵部」の商品近くに備え付けてある専用応募ハガキかQRコードで応募フォームに必要事項（お名前・ご住所・電話番号・年齢・性別・欲しい賞品・ご感想など）を明記して、ご応募ください。お一人様何口でもご応募できますが、ハガキ1枚につき1口とさせていただきます。
複数の応募の当選の場合は、お1人様1回いずれかの賞品に限らせていただきます。

当選発表

厳正なる抽選の上、当選者を決定いたします。当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。賞品の発送は諸事情により発送が遅れる場合があります。あらかじめご了承下さい。
お客様からお預かりした個人情報は、賞品の発送のために利用するほか、マーケティング等の目的のために個人を特定しない統計情報の形でのみ利用させていただきます。また、お客様の同意なしに開示を求められた業務委託先以外の第三者に開示・提供することはございません。（ただし、法令により開示を求められた場合を除きます。）

渡島・桧山地区の「函館育ちふっくりんこ蔵部」商品取扱各店にて実施中！

※一部キャンペーン対象外の店舗もございます。

北海道米販売拡大委員会 × 函館ふっくりんこ蔵部　「ふっくりんこ15周年感謝企画」事務局

北海道米販売拡大委員会 × 函館育ちふっくりんこ蔵部
「ふっくりんこ15周年感謝企画」事務局
お問い合わせ先　電話 080-3499-3489

受付時間　月曜日～金曜日 AM10:00～PM4:00（土曜日・日曜日・祝日はお休みとなります）
2018年12月28日（金）～2019年1月6日（日）はお休みとなります。
ご当選に関するお問い合わせはお答えできません。

JAグループ通信　JAグループ北海道×コンサドーレ札幌『北海道応援マッチ』特集号

毎月、JAグループ北海道の連合会・中央会の活動を紹介しております。今月は、平成30年9月29日に北海道コンサドーレ札幌ホームゲーム（vsサガン鳥栖戦）をJAグループ北海道と北海道コンサドーレ札幌による『北海道応援マッチ』として開催しましたので、会場での各取り組みをご紹介します。

JA北海道中央会

＊JAグループ北海道は、北海道コンサドーレ札幌とともに、スポーツを通じてたくさんの皆さまに食や農業の大切さを伝える活動を行っています。

9月29日のサガン鳥栖戦は、JAグループ北海道と北海道コンサドーレ札幌による『北海道応援マッチ』として開催しました。

来場者に全道各地のJA特産品を550名様にプレゼントする企画や、JAグループ関係のブースを回るスタンプラリー抽選会、「JA2MP」チェックインキャンペーンを実施しました。試合はコンサドーレの劇的な勝利に終わり、JAグループ北海道よりMVP賞の贈呈を行いました。

チームのさらなる活躍を期待し今後も北海道を共に盛り上げるパートナーとして応援して参ります。

JA北海道信連

JAバンク北海道では、会場で「口座開設を予約して頂いた方」に抽選でコンサドーレ観戦券またはコンサドーレ・オリジナルマフラーを、「ちょいた方」にちょリス・ブランケットをプレゼントしました。小野伸二選手も応援に駆け付け大盛況となり、多くのコンサドーレサポーターの方にJAバンクをPRすることができました。

ホクレン

ホクレンは来場者先着200人に顆粒片栗粉「とろりんぱっ」を配布したほか、「ホクレン大収穫祭」の告知及び全国発送のチラシを配布し、来場者に対してPRを行いました。ブースには北海道コンサドーレ札幌の田中雄大選手、藤村怜選手、クラブマスコットの「ドーレくん」が相次いで応援に駆け付け、配布を手伝うとともに、快く握手などに応じ、集まったサポーターたちを喜ばせました。

JA共済連北海道

JA共済連北海道は、地域貢献活動の紹介チラシを作成し、粗品とあわせて配布することで、交通安全を呼びかけしました。

また、小さいお子さまには、ひとのわグマのおなかを的にし、ボールを投げていただくゲームで楽しんでいただき、大盛況となりました。来場者の皆さまにJA共済連の交通安全にかかる活動を知っていただくことができました。

JA北海道厚生連

JA北海道厚生連からは配置薬課より「野菜酵素青汁」と「草筍譜Ⅲ（入浴剤）」の配布を行い、稲本選手もブースにかけつけてくださり、多くのサポーターの皆様に集まっていただき大盛況となりました。

今後も北海道コンサドーレ札幌の活躍を応援していきたいと思います。

理事会開催報告

第11回理事会議案（定例）

●日時／平成30年11月30日（金）　10時30分～　●場所／北斗市総合分庁舎

報告事項

（1）職員の退職について
（2）利益相反取引に係る包括承認貸付の実行報告について
（3）組合員の異動について
（4）委員会の開催について
　①第2回農家経営再建対策特別委員会　②第4回コンプライアンス委員会　③第5回ＡＬＭ委員会
（5）第3四半期のリスク管理方針に基づく総体的なリスク量管理について
（6）第3四半期の資金運用状況について
（7）平成30年度コンプライアンス・プログラムの実践状況について
（8）平成30年度収支見込（ＪＡ新はこだて10月末現在）について
（9）平成30年度収支見込（㈱新はこだて協同10月末現在）について
（10）平成30年度ＪＡ共済コンプライアンス点検結果および改善方針の概要について
（11）遊休資産の処分状況（10月末）について
（12）平成30年度企画管理・信用共済委員会視察研修の実施概要について
（13）平成30年産米ライスターミナル受入状況について
（14）平成30年度賦課金の徴収状況について
（15）平成30年度経営所得安定対策「畑作物の直接支払い交付金（数量払）の仮渡金について
（16）第5次地域農業振興計画の進捗状況について
（17）第6次地域農業振興計画（H32～H34）策定に係る「組合員意向調査」の実施について

議　案

第1号　ＪＡ全国監査機構期中監査結果について
第2号　組合員の出資口数の減少の承認について
第3号　理事に対する平成30営農年度組合員勘定供給限度額の変更について
第4号　役員定数等検討委員会の答申に対する対応について
第5号　内部監査規程の一部変更について
第6号　財務管理規程の一部変更について
第7号　自己査定マニュアルの一部変更について
第8号　職員への冬期手当の支給について
第9号　組合員懇談会への提案事項について

「第29回JA北海道大会」盛大に開催

１１月１３日、「第２９回ＪＡ北海道大会」が開かれた。全道から約２,４００人が参加し、「北海道５５０万人と共に創る力強い農業と豊かな魅力ある農村」の実現に向けて英知を結集することを誓った。北海道地震や大雨などの災害からの復旧・復興に向け特別議決も採択した。大会では農業所得増大や担い手の育成、サポーターづくりに加え、新たな基本目標に「時代に即した協同組合の価値創造」などを決議。

当JAからも輪島組合長以下、役職員が参加

第9回JA新はこだてスマイルサポーターロールプレイングコンテスト 組合長賞に赤石千草さん（江差支店）

１１月９日、「第９回ＪＡ新はこだてスマイルサポーターロールプレイングコンテスト」が開かれた。今年は同コンテスト歴代優勝者の５人の職員が選出。自動車共済について、損保更改の引き止め方や車両保障と弁護士費用保障特約の必要性、家族の保障内容の見直しなどを伝えながら、推進する様子を披露した。

審査員は、輪島桂組合長、田中猛一専務、西村安弘常務、佐藤博嗣信用共済部長、ＪＡ共済連北海道の河口修一札幌支所長、花咲一鬼函館駐在次長の６人。審査の結果、最も優れた推進技能を披露した職員におくられる組合長賞は、江差支店の赤石千草さんが受賞。お客様を出迎える第一印象や相手の気持ちに共感した上でのわかりやすく効果的な説明などが特に評価されました。

受賞結果

組合長賞	赤石　千草	職員（江差支店）
共済連札幌支所長賞	佐藤　　悠	職員（七飯支店）
専務賞	佐藤　美紀	職員（七重浜支店）

今月号の当選者　今月は10件の応募があり、厳正な抽選の結果、次の3名の方が当選となりました。

前回の答え 14

クイズ当選者

七飯町　さくやのばあば　さん
八雲町　じゃりんこ　さん
せたな町　タイシゲ　さん

「あっさぶメークインごろっとカレー」が発売!!

12月末まで『ありがとう!食べて・送って応援キャンペーン』開催中

今年10月、メークイン発祥の地、厚沢部町からあっさぶメークインをふんだんに使ったレトルトカレーが誕生。内容量の内、約40%が大ぶりカットしたあっさぶメークイン。

12月末まではキャンペーンを実施中です。1袋432円のところ、1袋398円で販売しています。ボリューム感満点のおいしいカレーをぜひご賞味ください!

値段：398円（税込）※左記は平成30年12月末までのキャンペーン特別価格。通常価格は432円（税込）
販売場所：厚沢部町道の駅、Aコープあっさぶ店、あぐりへい屋
お問い合わせ先：厚沢部基幹支店（0139-64-3321）、あぐりへい屋（0138-77-7779）

読者の声　たくさんのご応募、ありがとうございます。

七飯町　さくやのばあばさん
朝、晩と寒くなりましたネ。ハウスの後片づけ頑張ってま～す!

八雲町　じゃりんこさん
数独は苦手でしたが、初めてクリアできました。遅い初雪は嬉しさ半分、怖さ半分です。

せたな町　タイシゲさん
小さくてもいいですから、個人や団体の話題を多く取り上げてほしい。

せたな町　くりりんさん
秋の収穫も終わり、いよいよ北国の長～い冬の到来です。春までひとやすみ。

八雲町　マサさん
トマト栽培している「道南を農す」の記事は、とても興味深かった。同じようにトマトをつくっているので、がんばってほしいと思いました。

北斗市　おていちゃんさん
今年の農作業、お疲れ様でした。

北斗市　やまちゃんさん
健康百科で「正常眼圧緑内障」を初めて知りました。たくさんの情報、これからもよろしく。

七飯町　のんちゃんさん
かぼちゃまんじゅうの作り方が載っていて簡単でおいしそうなので、作ってみようと思いました。

兵庫県　がっちゃんさん
急に寒くなってきましたね。

※今月は当選発表のみです。

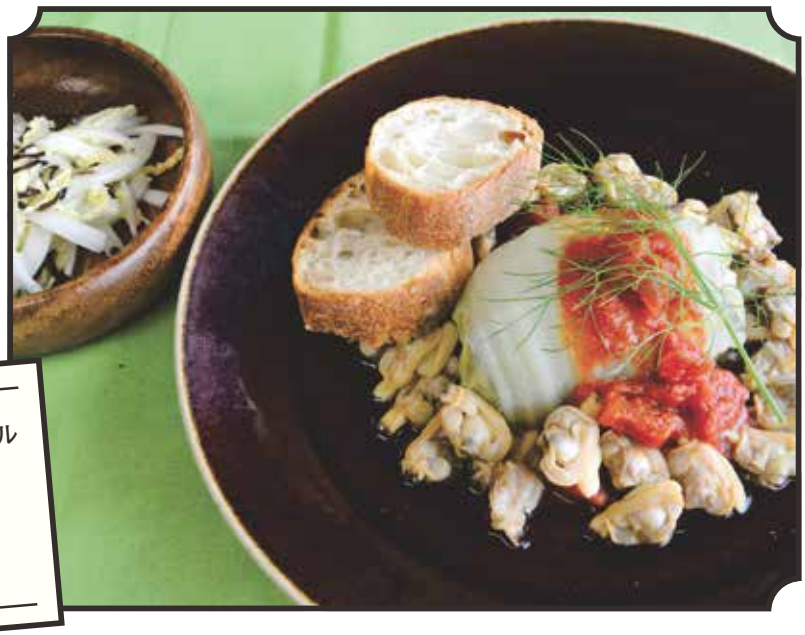
えがほカーズ
第196号
平成30年12月10日発行
発　行／新函館農業協同組合
〒041-1201 北斗市本町11丁目1番21号
電話／0138-77-5555　FAX／0138-77-5566
ホームページ／http://www.ja-shinhakodate.jp/
編　集／企画室　印　刷／有限会社　三和印刷

おいしく食べて　今日もスタート

今月の朝ご飯

永井智一
（ながい ともかず）

茨城県笠間市にある「キッチン晴人（ハレンジ）」のオーナーシェフ・永井智一さんに、元気が湧いてくる朝ご飯を教えていただきます。



朝ご飯の献立

レシピ1
アサリだしハクサイロール

レシピ2
ハクサイナムル

レシピ1 アサリだしハクサイロール

材料（4人分）

ハクサイの葉
（下ゆでした物）……大8枚
A 豚ひき肉 …… 100g
　タマネギみじん切り
　…… 1/2個分
　おろしショウガ
　…… 小さじ1
　塩・こしょう …… 適宜
アサリ…… 1パック
塩・こしょう …… 適宜
しょうゆ…… 大さじ1
みりん…… 大さじ1
水 …… 5カップ
トマト……大1個

作り方

（1）Aを全てボウルに入れ粘りが出るまで混ぜ合わせ、4つに分け団子状に丸める。ゆでたハクサイの葉を交互に並べて肉団子を置き手前から巻いていき、つまようじで留め、ハクサイロールを作る。
（2）鍋に水、砂抜きしたアサリを入れ火にかけ、沸騰したらアサリを取り出しむき身にする。
（3）（2）のアサリだしにしょうゆ・みりん・ハクサイロールを入れ中火で15分煮込み、塩・こしょうで味を調え、火から下ろす（1時間ほどなじませる）。
（4）（3）を器に盛り付け、むき身にしたアサリと、熱湯に入れ皮をむきつぶしたトマトをあしらい、ハーブ（材料外）とバケット（材料外）を添える。

レシピ2 ハクサイナムル

材料（4人分）

ハクサイの葉…… 4枚
塩昆布…… 大さじ2
塩・こしょう …… 適宜
ごま油…… 適宜

作り方

（1）ハクサイの葉は細切りにしてボウルに入れ、塩昆布と一緒にもみ込みなじませる。
（2）ごま油、塩・こしょうで味を調え出来上がり。

編集後記

皆様、タイヤ交換はお済でしょうか?先月の編集後記で「10月下旬は咳が止まらず」とお伝えしましたが、そのせいなのか、先日、くしゃみで肋骨の9番目の骨が折れました。疲労骨折らしいです。そんな中、自力でタイヤ交換を行いましたが、途中で力つきて妻にやってもらい、なんとか無事に終えることができました。タイヤ交換に限らず、できる時にやらずにいると、急なトラブルなどで苦労すると改めて感じましたので、何事もやれるときにやっていこうと思います。

（翔）

facebookページ更新中！

随時、最新情報を更新していますので、ぜひチェックしてみてください。

JA新はこだて facebook　検索

まるめ郎アルバム

寒い中、ソフトクリーム食べたよ。
トマトとバニラのミックスは
なかなかおいしかった。

緊急時のご連絡先

※業務時間内（平日9時～17時）にはご契約の支店にご連絡ください。

お車の事故・トラブル
☎0120-258-931
（JA共済事故受付センター）

お車のレッカー・ロードサービス
☎0120-063-931
（JA共済サポートセンター）

キャッシュカードや通帳の紛失・盗難
☎0120-944-904
（JAバンクキャッシュカード紛失共同受付センター）

JAクレジットカードの紛失・盗難
☎0120-159-674
（三菱UFJニコス㈱盗難紛失受付センター）

※JAカード一体型の盗難・紛失においては、両方にご連絡ください。